

岡山労働局発表
令和8年4月27日

岡山労働局 労働基準部 健康安全課
担当 健康安全課長 田淵 英二
労働衛生専門官 松下 晃司
TEL 086-225-2013(直通)

STOP!
熱中症

「職場における熱中症対策セミナー」を開催します！

— 熱中症による労働災害の急増を受けて今年度は県南・県北の2会場で開催 —

令和7年の岡山県下の熱中症による休業4日以上労働災害発生件数は33件(前年比19件増)となり、**直近20年で最多**の件数となりました。

また、全国における発生件数も前年から424件増の1681件となり**過去最多**を記録しています。

かかる状況の中、岡山労働局(局長:森實久美子)では、本年4月から9月末にかけて「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、職場における熱中症予防対策の更なる浸透を図ることとしていますが、その取組の一環として、本年度も関係団体等との連携の下、岡山市、津山市の2会場で「STOP!熱中症クールワークキャンペーン推進大会」(熱中症対策セミナー)を開催することとしました。労働局主催の本セミナーとしては初の県北開催となります。

本セミナーでは、行政から本年3月に公表された「職場における熱中症防止対策のためのガイドライン」の説明を行うほか、企業担当者による取組事例の発表、医学的見地からみた熱中症予防対策や熱中症が疑われる際の対応方法に係る医師の講演を予定しています。

また、会場では、各種熱中症対策グッズの展示や体験ブースの設置を予定しています。

夏本番を迎える前の準備活動として、本セミナーに奮ってご参加いただくようお願いします。

➤ 熱中症対策セミナーの概要 ※別添資料もご参考ください。

1 岡山会場

①日時 令和8年6月5日(金)14:00~16:00

②場所 おかやま西川原プラザ(岡山市中区西川原255)(定員:先着100名)

③内容 ●岡山労働局「職場における熱中症防止対策のためのガイドライン」

●事例発表 株式会社 三井 E&S 玉野事業所

●特別講演 堀田敏弘 医師

「熱中症「おせっかい」のすすめ~人事労務が踏み込むべき、一歩先の現場管理~」

2 津山会場

①日時 令和8年6月8日(月)14:00~16:00

②場所 グリーンヒルズ津山リージョンセンター ペンタホール(津山市大田920)(定員:先着70名)

③内容 ●岡山労働局「職場における熱中症防止対策のためのガイドライン」

●事例発表 銘建工業株式会社

●特別講演 徳弘雅哉 医師「専属産業医が勧める熱中症対策」

➤ 参加申し込み方法

WEB申し込み ※岡山産業保健総合支援センターのHPからお申込みいただけます。

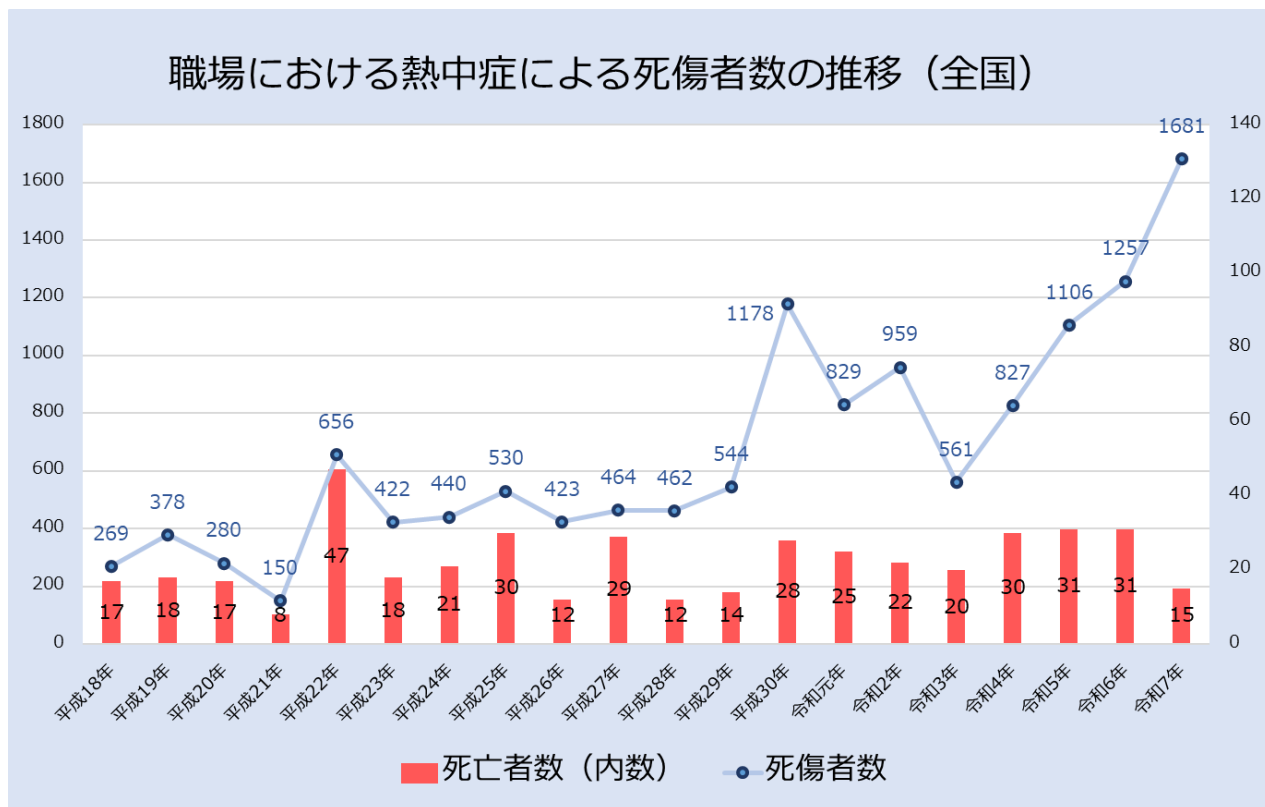
【岡山産業保健総合支援センターの連絡先：086-212-1222】

➤ セミナー当日の取材について

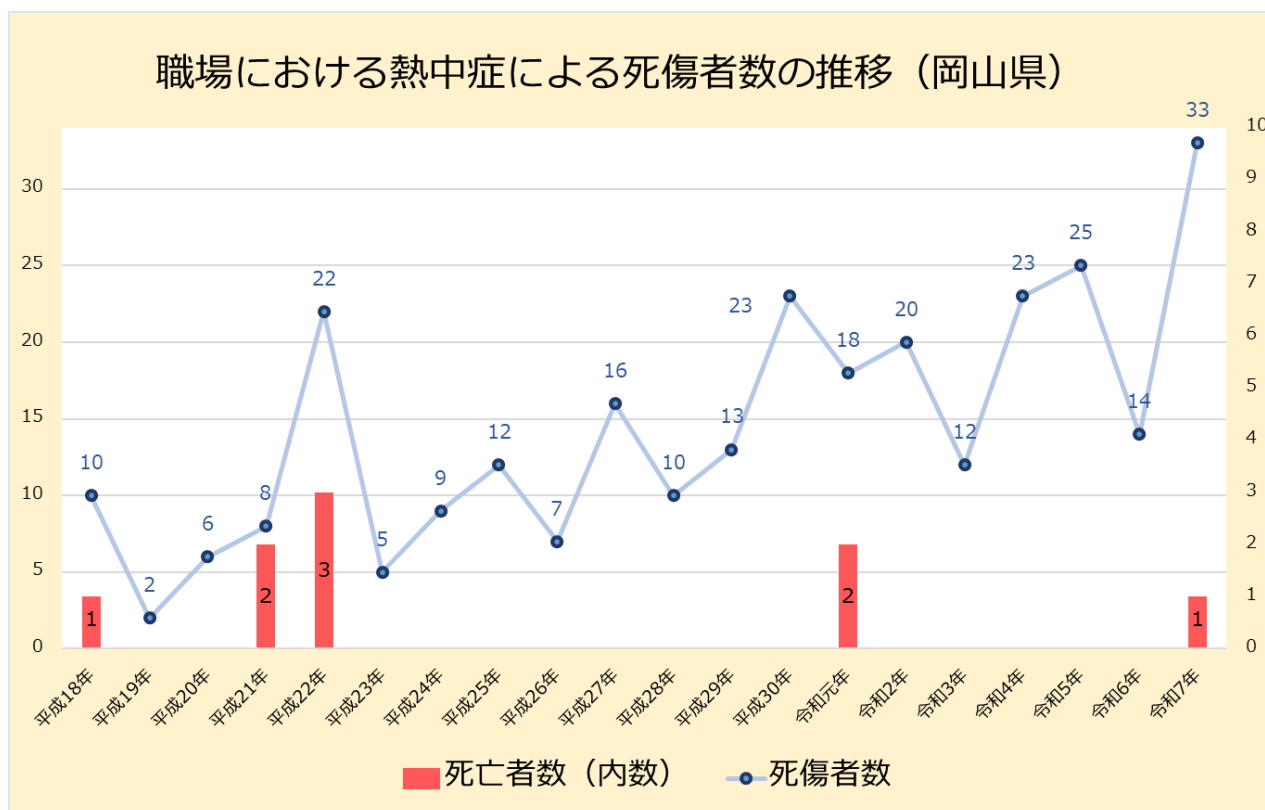
セミナー当日の取材を希望される場合は、前日までに下記担当までご連絡ください。

【担当:岡山労働局健康安全課 松下・田淵 電話086-225-2013】

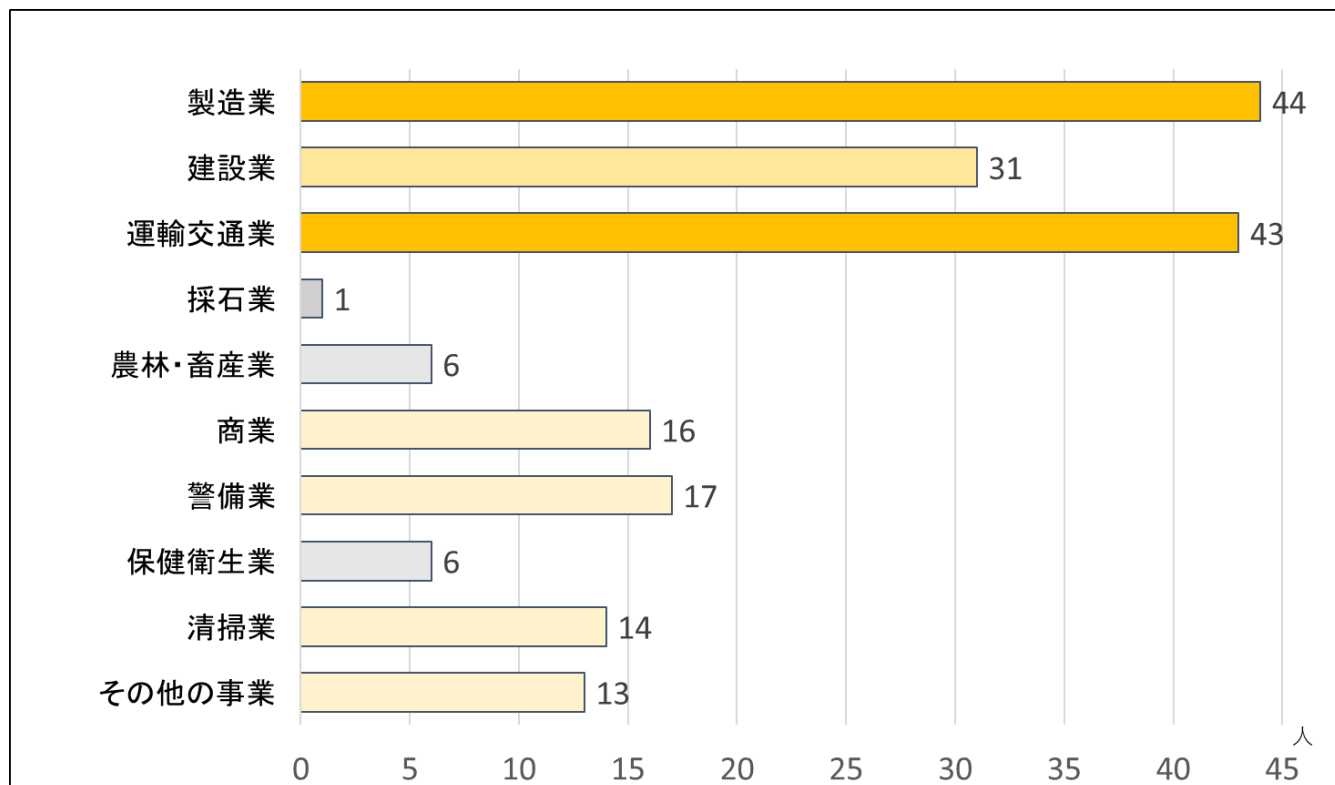
参考資料1: 全国の熱中症による災害発生状況(平成 18 年～令和 7 年)



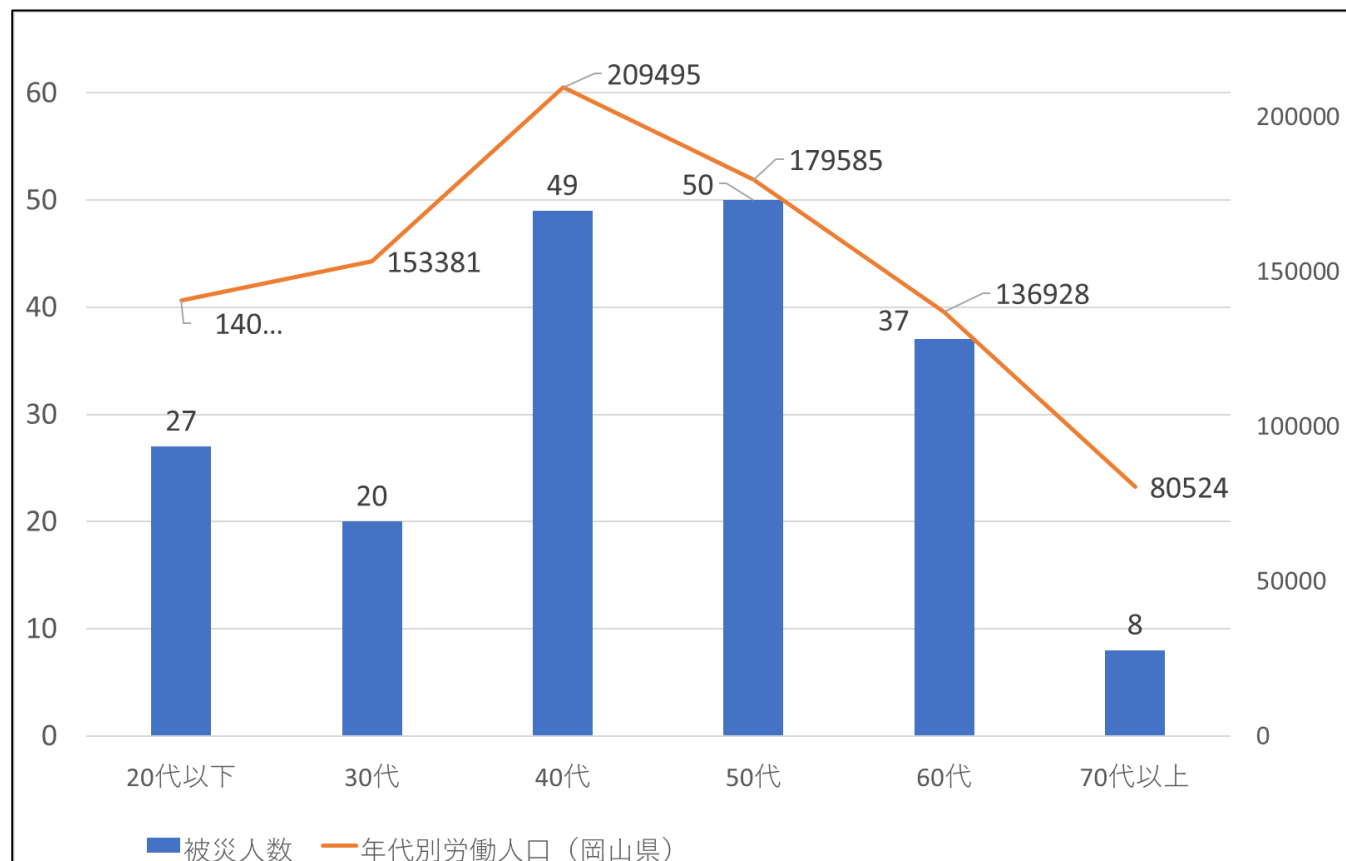
参考資料2: 岡山県内の熱中症による災害発生状況(平成 18 年～令和 7 年)



参考資料3 岡山県内の熱中症災害発生状況(業種別)(平成28年～令和7年)



参考資料4 岡山県内の熱中症災害発生状況(業種別)(平成28年～令和7年)



STOP！熱中症

クールワークキャンペーン推進大会

その暑さ、事故になる前に！！

日時

2026年6月5日(金)
14:00～16:00(13:30開場)

参加費
無料

場所

おかやま西川原プラザ
(岡山市中区西川原255番地) TEL:086-272-1923

定員

先着100名
*会場参加のみとなりますのでご注意ください

新たに示された「職場における熱中症防止のためのガイドライン」によって、事業者に求められる措置等についての説明の他、医学的見地からみた熱中症予防対策や熱中症が疑われる際の対応方法についてお話いただきます。また、事業場の熱中症対策の取り組み事例を発表いただきます。

特別講演

熱中症「おせっかい」のすすめ

～人事労務が踏み込むべき、一歩先の現場管理～

「水分取って」「無理しないで」という声掛けだけでは、現場の安全は守れません！

熱中症対策において求められるのは、一歩踏み込んだ「おせっかい」です。本講演では、個人の体調管理に任せきりにせず、組織としてどう現場の異変を察知し、介入すべきかを産業医・救急専門医という2つの顔をもつ講師が伝授します。



堀田 敏弘 医師

事例発表

熱中症予防に関する当社の取り組み

株式会社 三井 E&S 玉野事業所

主催 岡山労働局・労働基準監督署
共催 岡山県労働基準協会、岡山産業保健総合支援センター
後援 建設業労働災害防止協会 岡山県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会 岡山支部
日本労働安全衛生コンサルタント会 岡山支部

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部

【プログラム】

- 第1部 行政説明 14:05～
「職場における熱中症防止のためのガイドライン」の説明
岡山労働局 労働基準部 健康安全課
- 第2部 事例発表 14:25～
「熱中症予防に関する当社の取り組み」
講師：株式会社 三井 E&S 玉野事業所
- 第3部 特別講演 15:00～
熱中症「おせっかい」のすすめ
～人事労務が踏み込むべき、一歩先の現場管理～
講師：堀田 敏弘 医師
株式会社堀田（産業医事務所）
川崎医科大学附属病院 救急科・高度救命救急センター 非常勤医師
水島中央病院 救急科 非常勤医師

【熱中症対策関連用品】

熱中症対策を“体感”できる展示コーナーを同時開催！

熱中症対策に役立つ最新アイテムを実際に見て・触れて・体感できる「対策グッズ展示コーナー」を設けます。

プレクーリングに適したドリンクや、作業現場で活躍するファン付きウェア・ウェアラブル端末など、現場で即活用できる製品を企業の皆様にご協力いただき展示します。

- ▶ 現場で使えるリアルな対策を知りたい方
 - ▶ 自社の熱中症対策を見直したい方
 - ▶ 最新の対策製品に触れてみたい方
- ぜひセミナーとあわせてご覧ください。

○お申し込み：岡山産業保健総合支援センターのホームページより6月3日までにお申し込みください。
定員100名になりましたら、締め切らせていただきます。

○お問い合わせ：岡山産業保健総合支援センター
TEL：086-212-1222
WEB：https://okayamas.johas.go.jp/cool_2026/



県北
初開催!

STOP! 熱中症

クールワークキャンペーン推進大会

in 津山

日時

2026年6月8日(月)
14:00~16:00(13:30開場)

参加費
無料

場所

グリーンヒルズ津山リージョンセンター パンタホール
(津山市大田920) TEL:0868-27-7150

定員

先着70名
*会場参加のみとなりますのでご注意ください

新たに示された「職場における熱中症防止のためのガイドライン」によって、事業者に求められる措置等の説明の他、医学的見地からみた熱中症予防対策や熱中症が疑われる際の対応方法についてお話いただきます。また、事業場の熱中症対策の取り組み事例を発表いただきます。

特別講演 専属産業医が勧める熱中症対策

<講師からのコメント>

熱中症は命に関わる病態である一方、きちんと対策すれば防ぐことができます。

職場で抑えておきたいポイントなどを解説します。効果的な方法について、一緒に考えていきましょう。



徳弘 雅哉 医師

事例発表 熱中症予防に関する取組事例について

銘建工業株式会社

主催 岡山労働局・労働基準監督署
共催 岡山県労働基準協会、岡山産業保健総合支援センター
後援 建設業労働災害防止協会 岡山県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会 岡山支部
日本労働安全衛生コンサルタント会 岡山支部

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部

【プログラム】

● 第1部 行政説明 14:05～

「職場における熱中症防止のためのガイドライン」の説明
岡山労働局 労働基準部 健康安全課

● 第2部 事例発表 14:25～

「熱中症予防に関する取組事例について」
講師：銘建工業株式会社

● 第3部 特別講演 15:00～

「専属産業医が勧める熱中症対策」

講師：徳弘 雅哉 医師

三菱自動車工業株式会社 統括産業医 水島製作所 産業医
労働衛生コンサルタント
岡山産業保健総合支援センター相談員

【熱中症対策関連用品】

熱中症対策を“**体感**”できる展示コーナーを同時開催予定！

熱中症対策に役立つ最新アイテムを実際に見て・触れて・体感できる
「対策グッズ展示コーナー」を設けます。

プレクーリングに適したドリンクをはじめとした、現場で即活用できる熱中症
対策グッズを企業の皆様にご協力いただき展示する予定としています。

○お申し込み：岡山産業保健総合支援センターのホームページより6月5日までにお申し込みください。
定員70名になりましたら、締め切らせていただきます。

○お問い合わせ：岡山産業保健総合支援センター

TEL：086-212-1222

WEB：https://okayamas.johas.go.jp/cool_2026_608/

岡山産業保健



ホットかない！ホットけない！

みんなで防ごう 熱中症

It's COOL!

～おかやまの仕事場に『クール』な対策を！～



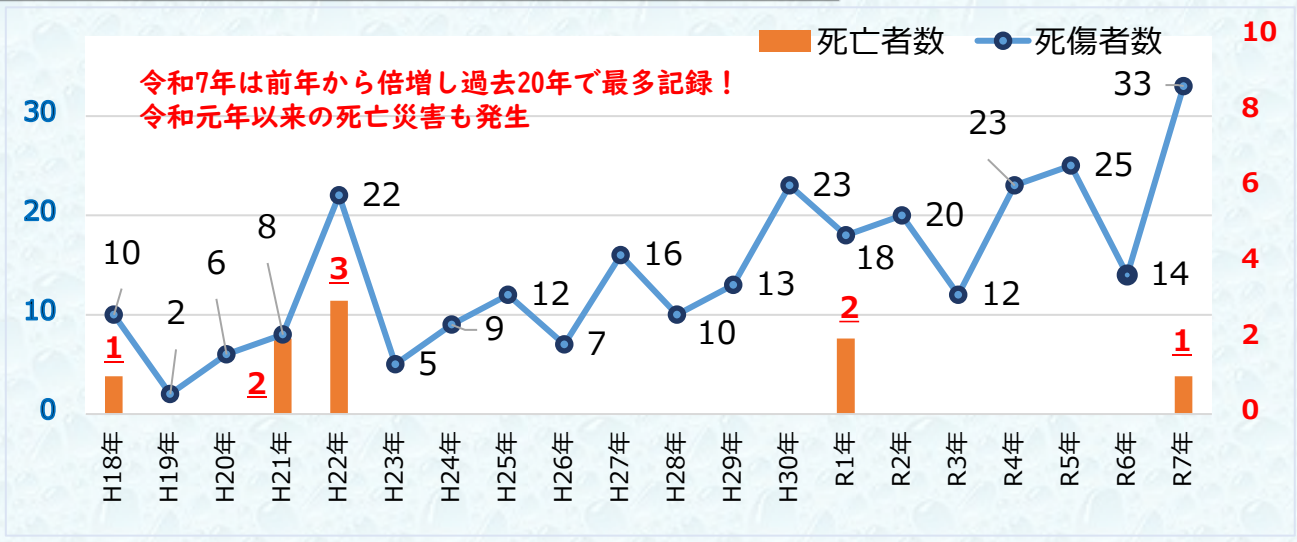
今年もおかやまに暑い季節がやってきます。もはや定番のフレーズとなった「記録的～」 「災害的～」 「前例のない～」といった表現の暑さに今年も立ち向かわなければなりません。職場における熱中症対策は、個人で行う対策だけでなく、重症化を防ぐための周りの気付きによる異常の発見や早期の応急処置が重要となります。働く皆様全員が熱中症対策を進める主役として皆でクールな仕事場を目指しましょう！

おかやまの職場における熱中症の発生状況

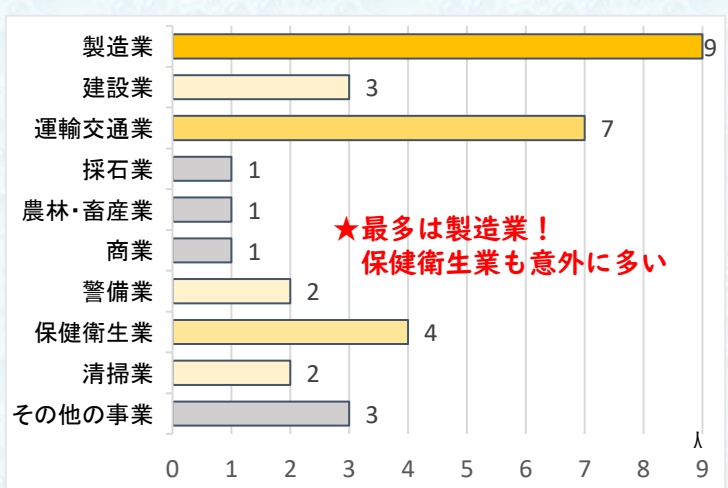


●職場における熱中症による死傷者数の推移（岡山県）

※休業4日以上、以下の表も同じ

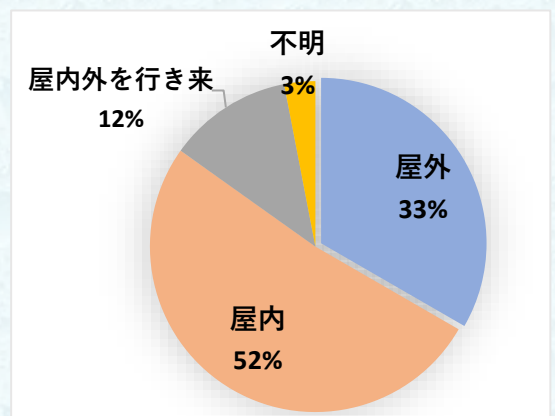


●業種別の発生状況（令和7年）



★最多は製造業！
保健衛生業も意外に多い

●発生場所別（屋内・外）（令和7年）



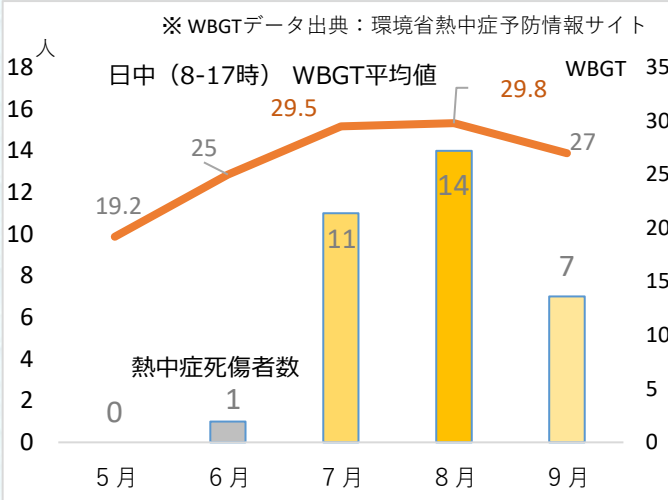
★半数は屋内作業時に発生

【裏面へ続く】

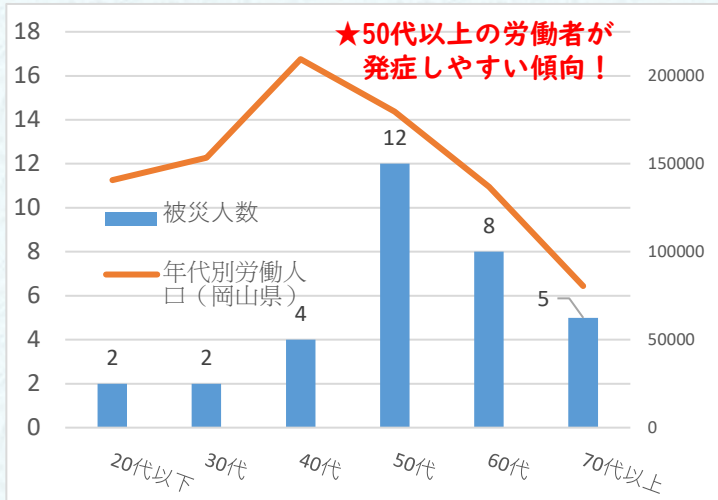
おかやまの職場における熱中症の発生状況（続き）



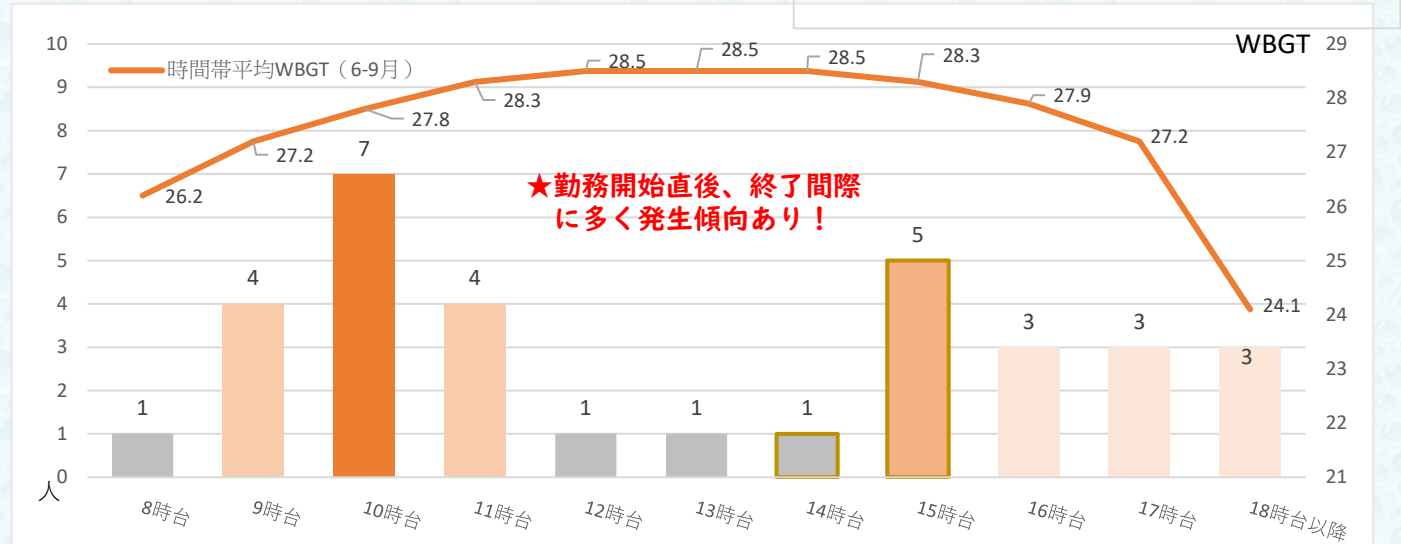
●月別発生状況（令和7年）



●月別発生状況（令和7年）



●時間帯別発生状況（令和7年）



あれっ？熱中症かな？～熱中症が疑われる場合の職場内連携について～



仕事中に熱中症が疑われる症状が出た場合、それが自身のことであれば同僚であれ、重篤化させないためには職場内での早期の情報共有・連携、そして適切な初動措置が肝心です。

「私（あの人）熱中症かな？」となった時、以下の心構えで動くことが大切です。

- ① 間違っていたらどうしようはNG! 疑われる症状があれば躊躇なく動く
- ② 「俺は大丈夫！」を過信しない! 症状の有無によって客観的に判断!
- ③ 気になったら周囲に即情報共有! 3人よれば文殊の知恵! チームなら動きやすい!

酷暑の中では「熱中症はいつでも発症しうる」ことを前提に職場内連携を進めましょう!

具体的な熱中症対策や、より詳しい熱中症対策情報は下記サイトから入手できます

熱中症特別警戒・警戒情報発表状況（環境省）



熱中症予防のための情報・資料サイト



働く人の今すぐ使える熱中症ガイド



熱中症警戒アラート 検索

熱中症予防 厚労省 検索

今すぐつかえる熱中症ガイド 検索

STOP!

熱中症 クールワーク キャンペーン



職場での熱中症により近年は、
一年間で約30人が亡くなり、
約1,000人以上が4日以上
仕事を休んでいます。



◀ 熱中症対策情報はこちら

キャンペーン期間



準備期間 4月 にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、
☑チェックしましょう。

労働衛生管理体制の確立

事業場ごとに熱中症予防管理者を選任し
熱中症予防の責任体制を確立

暑さ指数（WBGT）の把握の準備

JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検

作業手順・作業計画の策定

暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止
に関する事項を含めた作業手順・作業計画を
策定

設備対策の検討

暑さ指数低減のため簡易な屋根、通風または
冷房設備、散水設備の設置を検討

休憩場所の確保の検討

冷房を備えた休憩場所や
涼しい休憩場所の確保を検討

服装の検討

透湿性と通気性の良い服装を準備、送風や
送水により身体を冷却する機能をもつ服の
着用も検討

教育研修 の実施

ガイド・教育動画 e-learning

管理者、作業者に
対する教育を実施



緊急時の対応の事前確認

緊急時の対応（異常時における連絡体制や
対応手順等）を確認し、関係者に周知

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会【後援】関係省庁（予定）

キャンペーン期間 5月～9月 にすべきこと



環境省
熱中症予防情報
サイト



STEP
1

暑さ指数の把握と評価

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握
地域を代表する一般的な暑さ指数(環境省)を参考とすることも有効

STEP
2

測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底



暑さ指数の低減

準備期間に検討した設備対策を実施



休憩場所の整備

準備期間に検討した休憩場所を設置



服装

準備期間に検討した服装を着用



作業時間の短縮

作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、
作業中止



プレクーリング

作業開始前や休憩時間中に深部体温を下げる



水分・塩分の摂取

水分と塩分を定期的に摂取(水分等を携行
させる等を考慮)



暑熱順化への対応

熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間
の調整
※新規入職者や休み明け作業者は別途注意
すること



健康診断結果に基づく対応

次の疾病を持った方には医師等の意見を踏ま
え配慮 ①糖尿病 ②高血圧症 ③心疾患 ④腎
不全 ⑤精神・神経関係の疾患 ⑥広範囲の皮
膚疾患 ⑦感冒 ⑧下痢



日常の健康管理

当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量
の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを
指導し、作業開始前に確認



作業中の作業者の 健康状態の確認

巡視を頻繁に行い声をかける、
「バディ」を組み合わせる等作業者にお互いの
健康状態を留意するよう指導



異常時の 対応

あらかじめ作成した連絡体制や対応手順等の周知徹底
少しでも本人や周りが異変を感じたら、あらかじめ作成した連絡体制や対応手順等に基づき適切に対応
※必ず一旦作業を離れ、**全身を濡らして送風**することなどにより身体を冷却
※症状が回復しない場合は躊躇なく病院に搬送する(症状に応じて救急隊を要請)

重点取組期間

7月

にすべきこと



- 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- 熱中症のおそれがある者を発見したときは、躊躇することなく救急隊を要請